



## 令和4年度 学校を支える人たちを紹介します

令和4年度が始まり、一カ月が過ぎました。コロナ禍ですが、感染対策をしながら順調なスタートをきることができたのではないかと思います。4月22日(金)には、遠足等、そして、5月28日(土)の運動会に向けて、運動場でリレーの練習などが始まるなど、子供たちの力いっぱいの姿が見られるようになりました。暑くなってくるので、体調管理には、十分御配慮をお願いします。

始業式で、子供たちに「相手の気持ちを思いやる子」になってほしいと伝えました。学校が始まった頃、登校を渋っていた低学年の児童に、上級生が寄り添って、優しく声をかけていました。子供たちの良さをこれからも、たくさん見つけていきたいと思います。

### 1 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）発足

コミュニティ・スクールとは、保護者や地域住民等が、一定の権限と責任を持って学校運営に参画する仕組みである「学校運営協議会」を置く学校のことです。

三島市では、令和2年度に4校、3年度に10校、そして今年度、全ての小中学校を学校コミュニティ・スクールに指定しました。

学校運営協議会は、「学校運営の基本方針の承認」、「学校運営に関する意見」等の主な役割があります。

4月27日(水)に、第1回学校運営協議会を開催しました。

校長が、学校運営協議会について説明した後、令和4年度の経営方針の説明をしました。その後、授業参観をした後、子供たちの様子について意見交換しました。委員の方からは、地域の素材である「生きがい教室」等との交流、コロナに対する不安が話題にあがりました。学校からも、「通学路の安全」「学校からの配布物」について話し合いました。今後、様々な予測困難な事態が生じたときに、学校運営協議会で、保護者、地域の方と一緒に向き合っていきたいと思います。

委員は、

氏名	所属・役割等
秋津 淳一	373 サポートーズ実行委員長・創立150周年記念事業実行委員長
加藤 竜一	373 サポートーズ実行副委員長・富田町自治会長
深沢 香奈	佐野美術館学芸員
石井 真人	373 サポートーズコーディネーター・R3PTA会長
小川 みどり	たんぼぼ代表・373 サポートーズ実行委員

校長、教頭(2名)、主幹教諭

## **2 373 サポートーズ（地域学校協働本部）**

南小学校は、たくさんの活動に支えられています。地域学校協働本部は、保護者や地域住民等の参画による放課後等における子供たちの学習支援、体験・交流活動のほか、保護者や地域住民等による授業支援や学校行事等の支援などです。

南小では、

- ・たんぼぼ（本の読み聞かせ）
- ・スクールガード（通学路の見守り）
- ・放課後学習教室
- ・うさぎの世話（長期休業中）

4月27日に、第1回実行委員会が開かれ、今後の支援について話し合われました。

## **3 南小おやじの会**

入学式写真撮影お手伝い、環境整備作業お手伝い等、父親が、様々な活動で、支えてくれています。コロナ禍で、できなかった行事も計画しています。

## **4 創立150周年記念執行部会**

今年度、南小は、創立150周年を迎える記念すべき年です。11月27日に記念式典を予定していて、レポトリの披露などを考えています。子供たちにとっても、何かふりかえることはできないか考えていきたいと思っています。

## **5 iPad 説明会・体験会・学級懇談会**

4月26日（火）に、一年間の南小学校でのI-PADを活用しての成果について説明しました。一年目は、いろいろな面で活用してみると、タイピング技能の向上だったのではないかと思います。二年目は、各学級で体験していただいたように、「主体的で、対話的で、深い学び」につながるタブレットの研究を進めていきたいと思っています。今まで、手をあげた児童の発表で進められたものが、クラウドを利用して、どんな考えをしているのか、一斉に共有することができ、他の人がどんな考えをしているのか、その考えをふまえて、自分の考えを再構築することができます。今後いろいろなチャレンジをしていきたいと思っています。家庭に持ち帰りましたら、わからないことを自分で調べたり、タイピング練習をしたり、いろいろなサイトで学習を進めたり、自分で主体的に取り組むツールとして活用していただければと思います。

## **6 通学路の安全について**

一カ月児童の登校の様子を見ました。スクールガードの皆様、PTA、町内会、ボランティアなど、たくさんの方々に見守られていることがよくわかりました。

子供たちも交差点では、しっかり立ち止まり、左右を確認して、渡っている姿も見ることができました。先日、横断歩道での渡り方について、ふざけていて危なかったという連絡がありました。すぐに、学校でも、校内放送を通して、注意喚起をうながし、担任から指導しました。家庭でも、危ない個所につきましては、お子様と話し合っただけだと幸いです。「自分の命は、自分で守る」ことを大切にしたいと思います。